

一般質問



炭竈 ふく代 議員
公明党

問 心肺蘇生教育の普及推進を

答 来年度、関係機関と調整し実施



▲十四山中学校での生徒を対象としたAED講習会の模様

問 小中学校のAED設置状況は。

答 (学校教育課長) 各校2台、1台は体育館、もう1台は、職員室や保健室。

問 使用事例は。

答 2件。

問 AED教育、危機管理体制など、学校環境構築への考えは。

答 職員は、講習会を年1回実施。児童・生徒につい

ては、全中学校において教科書でAEDについて学んでいる。また、一部の小中学校で児童・生徒を対象に実施。

問 小中学校の心肺蘇生教育における今後の方向性と取り組みは。

答 来年度から関係機関と調整を行い、全校で実施する。

問 不登校対策施設整備拡大を

答 新たに平島地内で検討

問 不登校の定義と児童生徒数の現状は。

答 (教育長) 年度間に連続・断続で30日以上欠席した者で、病気や経済的理由を除いた者。全体として、小学校17人、中学校41人。

問 不登校未然防止対策の取り組みは。

答 アンケート調査を実施。調査結果に対する職員向け研修会。職員間の情報共有。地域との連携。

問 適応指導支援室(通称アクティブ)に通室している人数の現状は。



▲アクティブの室内(鍋田支所2階)

問 小中合わせて14人。アクティブでの取り組み内容と学校への復帰率は。

答 保護者の心理面のケア。状況に即した学習支援。集団生活と協調性の向上。復帰率は43%。

問 教員への研修は行っているか。

答 各層の研修会で、事例研究などを行っている。

問 適応指導支援室事業において、2カ所目設置への計画は。

答 (市長) 現在のアクティブを統合することも合わせ、平島地内で検討。